

沿革 | 養豚研究所

昭和 12 年	酒田市大字宮海に山形県種鶏場として創設
昭和 38 年	山形県種鶏種豚場となる 種豚係を新設
昭和 39 年	豚の人工授精用精液の譲渡開始
昭和 46 年	山形県立畜産試験場中小家畜分場となる
昭和 47 年	豚後代検定、若雄直接検定事業を開始
昭和 51 年	山形県立養豚試験場となる 養鶏部門を山形県立畜産試験場へ移管
昭和 57 年	豚凍結精液利用実用化促進事業を開始
昭和 63 年	現在地に庁舎及び豚舎、付属施設等を整備移転 豚系統造成事業（豚の閉鎖群育種試験）を開始
平成 元年	株式会社平田牧場から中国豚（梅山豚雌雄一対）の寄贈を受ける （6 月）
平成 3 年	併用検定開始
平成 6 年	系統豚「ヤマガタ L」完成（3 月）
平成 10 年	第 2 次豚系統造成事業開始（7 月）
平成 17 年	系統豚「ガッサンエル」完成（3 月）
平成 17 年	試験研究機関の再編により、山形県農業総合研究センター畜産試験場養豚支場となる
平成 21 年	山形県農業総合研究センター養豚試験場となる
令和 2 年	山形県農業総合研究センター養豚研究所と改称